

簡單ニシテ當業者ニ便宜ヲ與フル爲前記ノ場合ニ限り尙豫約擔保ノ免除ヲ存續シタリ
 明治四十一年四月鹽賣捌規則ヲ制定スルト同時ニ鹽專賣法施行細則中鹽ノ賣渡ニ關スル規定ヲ
 削除シタル爲外國鹽賣渡請求ニ對シテ豫約擔保ヲ提供セシムルノ制ハ廢止セラレルトナレ
 リ

從來歐米鹽ハ何人ニモ賣渡スコトトシタルモ既往ノ實蹟ニ依レハ其ノ賣渡請求者ハ總テ輸入取
 扱人ノミニ限ラレ且之ヲ以テ官民共ニ便宜トスル所ナルヲ認メタルニ依リ明治四十一年七月販
 賣制度改正ノ際其ノ輸入取扱人ヲ特別元賣捌人ニ指定シ一手販賣ヲ爲サシムルトトシタリ

第四節 賣渡價格

鹽ハ法律上定價ヲ以テ之カ賣渡ヲ爲スヘキモノニシテ其ノ定價ハ政府カ專賣收入ノ所要ニ應シ
 任意ニ決定シ得ヘキコトヲ本則トスルモ其ノ最高限度ハ法第十八條ニ於テ百斤ニ付金一圓四十
 八錢ニ限定セルヲ以テ其ノ限度内ニ於テ伸縮スルヲ得ルノミ尤モ是レ賠償金ヲ交付シテ收納シ
 タル鹽即チ内地鹽ニ限ルモノニシテ臺灣鹽、關東州鹽及歐米鹽等ニ付テハ別ニ何等ノ制限ナキモ
 ノトス

内地鹽ノ定價ハ一定ノ價格ヲ定メス賠償價格ニ一定ノ收入率ヲ加算シタル額トナシタルヲ以テ
 賠償價格ノ異ル毎ニ自カラ異動アルノミナラス賠償價格ノ増減アル都度變動ヲ來スコトトナレ
 リ臺灣鹽及關東州鹽ノ價格ハ内地鹽ノ價格ト權衡ヲ保タシムルトヨ目的トシテ之ヲ定メ歐米
 鹽ノ價格ハ内地鹽收入率ノ外内地鹽業保護ノ意味ニ於テ品質ニ對スル相當割増額ト專賣施行前
 ニ於ケル輸入税ニ相當スル金額トヲ加算シタルモノヲ以テ標準トシ定價ヲ定メタリ

鹽賣渡價格ハ之ヲ公示スルトヨ爲サス鹽務官署内見易キ場所ニ揭示シ公衆ヲシテ之ヲ知ラシ
 ムルトトシ鹽務局長ニ内訓シタリ但シ臺灣鹽ノ如キハ移入取扱人ニ對シ直ニ之ヲ賣渡スモノ

ナルヲ以テ其ノ賣渡價格ノ如キ移入取扱人トノ間ノ協定ニ止マレルヲ以テ別ニ之ヲ揭示スルノ必要ヲ認メサリシナリ

内地鹽ノ賣渡價格ハ國庫歲入ノ必要上法定最高限ノ收入ヲ要セシ爲一般用途ノ鹽ニ在リテハ賠償價格ニ一石當二圓五十錢即チ百斤當一圓四十八錢ヲ加算シタルモノヲ以テ賣渡價格トシ特別用途鹽ニ在リテハ一石當三十錢即チ百斤當十八錢ヲ加算スルモノト爲シタリ尤モ外國へ輸出スル鹽ニ在リテハ輸出保護ノ趣旨ニ依リ國庫ニ於テ收益スル處ナク賠償價格即チ原價ニテ賣渡スコトト爲シタリ

内地鹽賣渡價格定メ方左ノ如シ

大藏大臣内訓臨第一八三七號 (明治三十八年五月九日)

第一條 鹽務局ハ局及出張所毎ニ別記様式ニ依リ鹽賣渡定價表ヲ作り之ヲ公示スヘシ

第二條 内地鹽賣渡價格ハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ニ專賣收入率ヲ加算シタルモノトス但シ輸出鹽ニ在リテハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ヲ以テ其ノ賣渡價格トス

臺灣鹽及外國鹽賣渡價格ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 鹽專賣收入率ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 鹽專賣法第十八條ニ依リ一般定價ヲ以テ賣渡スモノ

百斤ニ付 金一圓四十八錢

二 明治三十八年勅令第五十七號專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條各號ノ用途

ニ使用スルモノニシテ特別定價ヲ以テ賣渡スモノ

百斤ニ付 金十八錢

何鹽務局(何出張所)百斤當鹽賣渡定價表

區分	一般定價鹽		外國輸出鹽		醬油釀造用鹽		曹達、硫酸曹達、晒粉又ハ石鹼製造用鹽		肥料用鹽		獸皮保存用鹽		礦業用鹽		銑、鱒、鱒、臘、獸鹽藏用鹽	
	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝	無包裝	包裝
一等																
二等																
三等																
四等																
五等																

備考

一 鹽務局ニ於テ包裝、無包裝ノ區別ナキトキハ其各欄ヲ設クルヲ要セス

歐米鹽賣渡價格モ別ニ之ヲ公示セス横濱神戸鹽務局ニ内訓シ他ノ鹽務局ニハ之ヲ通牒シタリ其ノ各收入率算定ノ根據ハ一般定價ニ在リテハ(イ)内地鹽ノ收入率一圓四十八錢及(ロ)專賣前ノ輸入稅(粗製三圓四十八錢)ノ外尙(ハ)内地鹽保護ノ爲横濱ニ於ケル内地一等鹽賠償價格一圓二十六錢ノ約

二割五分ニ相當スル金額ノ和トシ、特別定價ハ内地鹽ノ收入率十八錢ニ前記(ロ)ハヲ加ヘタルモノ、輸出鹽ハ前記(ロ)ハノ和ニ依リタルモノトス

大藏大臣内訓臨第二一四七號(明治三十八年五月二十六日)

外國鹽賣渡價格定メ方左ノ通相定ム

第一條 外國鹽賣渡價格ハ輸入取扱人ヨリ申出テタル請負金額ニ左ノ金額ヲ加算シタルモノ

トス但シ其ノ鹽ノ品質ニ相當スル内地鹽ノ横濱ニ於ケル賣渡價格ヨリ低下スルコトナシ

一 鹽專賣法第十八條ニ依リ一般定價ヲ以テ賣渡スモノ

粗製 百斤ニ付 金二圓

精製 百斤ニ付 金五圓二十錢

二 明治三十八年勅令第五百十七號第一條各號ノ用途ニ供用スルモノニシテ特別定價ヲ以

テ賣渡スモノ

粗製 百斤ニ付 金七十錢

精製 百斤ニ付 金三圓九十錢

第二條 輸出ノ目的ヲ以テ賣渡ス外國鹽ノ賣渡價格ハ輸入取扱人ヨリ申出テタル輸入請負金

額ニ左ノ金額ヲ加算シタルモノトス

粗製 百斤ニ付 金五十二錢

精製 百斤ニ付 金三圓七十二錢

臺灣鹽ノ賣渡價格ハ其ノ移入取扱人ニ對スル移入及賣渡命令ニ依リ之ヲ協定シテ買受ヲ命令シ

タルコト左記ノ如ク其ノ一般定價ハ上等散鹽ハ内地二等鹽ニ比準シ其ノ賣渡價格二圓四十三錢

(賠償價格九十五錢收)ヨリ内地ニ於ケル包裝費六錢及色相結晶等ノ關係ニ依ル割引額十錢計十六

錢ヲ控除シ竝等散鹽ハ内地三等鹽ニ比準シ其ノ賣渡價格二圓三十六錢（賠償價格八十八錢收）ヨリ前記十六錢ヲ控除シテ之ヲ定メ輸出鹽ハ上等散鹽竝等散鹽共右一般定價ヨリ各一圓四十八錢ヲ控除シ其ノ他ノ特別定價ハ一般定價ヨリ交付金ニ相當スル金一圓三十錢ヲ控除シテ之ヲ定メ包裝鹽ニ付テハ臺灣ニ於ケル包裝費十二錢ヲ總テ各別ニ加算スルコトトシタルモノナリ而シテ移入及賣渡方ニ關スル命令事項ハ毎年度更定スルコトトシタリ

臺灣鹽賣渡價格

一 外國輸出ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金九十一錢

竝等 百斤ニ付 金八十四錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金七十九錢

竝等 百斤ニ付 金七十二錢

二 明治三十八年勅令第一百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金一圓九錢

竝等 百斤ニ付 金一圓二錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金九十七錢

竝等 百斤ニ付 金九十錢

三 前二號以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金二圓三十九錢

竝等 百斤ニ付 金二圓三十二錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金二圓二十七錢

竝等 百斤ニ付 金二圓二十錢

賠償價格改正以前收納シタル鹽ヲ改正後賣渡ス場合ハ改正賠償價格ニ收入率ヲ加ヘテ賣渡スヘキヤ長野鹽務局長ノ問合セニ對シ見込ノ通ナル旨明治三十八年七月回示シタリ

次テ内地鹽賠償價格改定ニ伴ヒ歐米鹽ノ收入率ヲ粗製鹽精製鹽トモ各三十錢宛増加シ横濱及神戸鹽務局ニ内訓シ他ノ鹽務局ニハ之ヲ通牒シタリ右ハ明治三十八年七月横濱ニ於ケル一等鹽賠償價格ヲ一圓五十六錢ニ改定シタル爲内地鹽トノ權衡上收入率ヲ引上ケタルモノナリ

大藏大臣内訓臨第三〇五五號 (明治三十八年七月二十七日)

外國鹽賣渡價格定メ方中左ノ通改正ス

第一條 第一號中粗製百斤ニ付「金二圓」ヲ「金二圓三十錢」ニ、精製百斤ニ付「金五圓二十錢」ヲ「金五圓五十錢」ニ、同條第二號中粗製百斤ニ付「金七十錢」ヲ「金一圓」ニ、精製百斤ニ付「金三圓九十錢」ヲ「金四圓二十錢」ニ、第二條中粗製百斤ニ付「金五十二錢」ヲ「金八十二錢」ニ、精製百斤ニ付「金三圓七十二錢」ヲ「金四圓二錢」ニ改ム

元來臺灣鹽ノ賣渡價格ハ其ノ上等鹽ハ内地二等鹽ニ竝等鹽ハ内地三等鹽ニ比準シテ定メタルモノナルモ色相粗惡ニシテ結晶粗大ナル爲一般ニ使用ヲ嫌忌スルノ狀況ニシテ十錢方ノ減價ニ依

リテハ之カ需要ヲ催進シ難キモノト認メタルヲ以テ其ノ比準等級ヲ變更シ上等鹽ハ内地四等鹽ニ竝等鹽ハ内地五等鹽ニ比準スルコトトセリ然ルニ内地鹽ノ賠償價格ハ改正ノ爲二十一錢ヲ増加シタルヲ以テ其ノ比準等級ヲ低下スルモ其ノ標準トスル當該賠償價格ハ上等鹽ノ分十二錢竝等鹽ノ分九錢増加スル結果トナルニ依リ其ノ賣渡價格ハ其ノ増加額丈ケ増スヘキ計算トナリシモ竝等鹽ニ付テハ主トシテ「アルカリ」工業用ニ供スルモノナレハ同工業不振ノ爲竝等鹽ニ限リ特ニ尙四錢方ノ減價ヲ爲スコトトシ結局賣渡價格ハ上等鹽ヲ十二錢増竝等鹽ヲ五錢増トシ移入取扱人トノ間ニ協定シタリ

當時内地鹽凶歉ノ爲供給不足ナルニ臺灣ニ於テモ亦產鹽不作ニシテ豫定數量ヲ移入スルコト能ハサルニ依リ終ニ外國鹽輸入ノ必要ヲ認メ歐米鹽ノ外更ニ安南鹽及清國鹽等ノ輸入ヲ爲サシムルコトトシ其ノ賣渡價格ハ臺灣鹽ニ比準シ收入率ニ於テ各金十錢ヲ引上ケタルモノニシテ臺灣鹽ト同シク其ノ輸入取扱人ニ對スル輸入及賣渡命令ニ依リ之ヲ定ムルコトトセリ

安南鹽賣渡價格

一 明治三十八年勅令第一百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金一圓十五錢

二 前號ノ用途以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金二圓四十五錢

清國直隸省鹽賣渡價格

一 明治三十八年勅令第一百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金一圓五錢

二 外國輸出及前號ノ用途以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金二圓三十五錢

清國遼東半島並山東省鹽賣渡價格

一 明治三十八年勅令第五百十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金一圓一錢

二 前號ノ用途以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

散鹽 百斤ニ付 金二圓三十一錢

又一方内地鹽供給不足ノ時ニ當リ歐米鹽ノ輸入ヲ見サルハ其ノ價格不廉ナルカ爲需要ヲ喚起セサルモノナルヲ以テ需給ノ調和ヲ圖ルカ爲省議ノ決定ヲ經テ歐米鹽ノ輸入及賣渡方ニ關シ省令其ノ他ノ法規ヲ變更スルコトナクシテ一時的ノ特別取扱ヲ爲スコトトシ明治三十八年十月以降其ノ收入率ヲ各二十錢宛低減シタルモ明治三十九年ニ於ケル内地鹽ノ作柄ハ平年作ナルノ見込確實ナルニ至リ最早之ヲ存續スルノ必要ナキヲ認メタルヲ以テ同年六月二十日限り其ノ賣渡價格ヲ復舊シタリ

明治三十八年十月「アルカリ」工業者ハ專賣後原料鹽ノ騰貴ニ因リ内國製品ノ値上ヲ行ハムトスレハ外國品ノ壓迫ヲ受クルコトトナリ結局將來維持ノ見込ナキ旨ヲ以テ原料鹽ノ値下ヲ請願シタリ政府ハ同工業保護ノ必要ヲ認メ其ノ請願ヲ容レ臺灣鹽ニシテ「アルカリ」工業用ニ供スルモノハ特ニ其ノ賣渡價格ヲ低減スルコトトシ明治三十八年十一月ヨリ百斤ニ付十錢ノ値下ヲ行ヒタリ其ノ値下ノ結果ハ上等散鹽九十九錢並等散鹽八十五錢トナリ原價上等七十一錢一厘並等六十四錢ニシテ其ノ收入率ハ上等二十七錢九厘並等二十一錢トナリ内地鹽ノ收入率十八錢ニ比シ尙多額ナルニ依リ差當リ十錢ノ値下ヲ爲シタルモノトス

尋テ安南鹽清國直隸省鹽及同國遼東半島並山東省鹽ニ在リテモ臺灣鹽ニ準シ「アルカリ」工業用ニ

供スルモノニ對シ同額ノ値下ヲ爲シタリ

漁獲物鹽藏用鹽ノ特別定價ハ内地鹽ニ在リテハ賠償價格ニ百斤當十八錢ノ收入率ヲ加ヘタルモノナルモ一般定價賠償價格ニ百斤當一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ鹽藏用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ鹽藏物ノ種類ニ應シ一定ノ交付金ヲ下付シ以テ特別定價賣渡ノモノト權衡ヲ保タシメタリ然ルニ漁業者ニシテ一般定價鹽ヲ以テ漁獲物鹽藏用ニ供スルモノハ假令後日交付金ヲ下付セラレルトシテモ一時ハ專賣前ニ比シ約三倍ノ鹽代金ヲ支拂フコトトナリサナキタニ薄資ノモノ多キ漁業者ヲシテ賠償金ノ調達ニ困難ヲ感セシメ延テ漁業ノ衰頽ヲ來スヘシトナシ明治三十九年三月露領新瀾水產組合ヨリ遠洋漁業用鹽ニ對シ更ニ其ノ價格ヲ低減シ賠償原價ヲ以テ賣渡シアリタキ旨大藏大臣ニ陳情シタルモ右漁業用鹽ニ對シテハ既ニ特典ヲ與ヘ僅ニ百斤當十八錢ノ收入率ヲ加算スルニ止メタルモノナレハ此ノ上賣渡價格ヲ引下クル必要ヲ認メサルノミナラス若シ之ヲ引下クルトキハ國庫ノ收入ヲ減スルヲ以テ採用セサルコトトセリ

醬油釀造鹽ニ對スル特別定價賣渡ハ專賣施行後ノ實況ニ徴スルニ寧ロ之ヲ廢シテ普通消費鹽ノ如ク一般定價ニテ之ヲ賣下クルト同時ニ醬油稅率ヲ輕減スルコトノ利便ナルヲ認メ法律及勅令ヲ改正シ明治三十九年度ヨリ之ヲ實行シタリ又アルカリ工業用ニ供スル臺灣鹽ハ同工業保護ノ爲其ノ賣渡價格低減ノ必要ヲ認メ同年度ヨリ尙百斤ニ付三錢ヲ引下ケタルモ其ノ他ノ用途ニ在リテハ前年度分價格ノ儘据置トシタリ而シテ其ノ低減額ヲ三錢トシタルハ竝等散鹽ノ賣渡價格八十二錢トナリ其ノ原價六十四錢ニ對シ收入率ハ十八錢トナリ即内地鹽ノ收入率ト同額メラシメタルモノトス

臺灣鹽賣渡價格

一 外國輸出ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金一圓三錢

並等 百斤ニ付 金八十九錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金九十一錢

並等 百斤ニ付 金七十七錢

二 明治三十八年勅令第一百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ但シ

鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造者中政府ノ指定シタル者ニ轉賣スル目的ヲ以テ買受クルトキ

ハ三千萬斤以内ヲ限リ各種各等共金十三錢ヲ低減ス

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金一圓二十一錢

並等 百斤ニ付 金一圓七錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金一圓九錢

並等 百斤ニ付 金九十五錢

三 前二號以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金二圓五十一錢

並等 百斤ニ付 金二圓三十七錢

第九章 販賣

散鹽

上等 百斤ニ付 金二圓三十九錢

並等 百斤ニ付 金二圓二十五錢

明治三十九年度中鹽再製業者ニシテ關東州租借地ニ於ケル製鹽其ノ他清國鹽ヲ自ラ輸入シ之ヲ其ノ工場ニ於ケル原料用ニ供シタキ旨請願スル者アリタルヲ以テ其ノ請願ヲ容レ一定ノ數量ヲ限リ輸入スルコトヲ命シ其ノ賣渡價格ハ購買價格ニ臺灣鹽ト同一ノ收入率即百斤當一圓六十一錢ヲ加算スルモノトシ之ヲ輸入及賣渡命令ニ依リ定メタリ

關東州鹽賣渡價格 百斤ニ付 金二圓三十一錢

清國鹽賣渡價格 百斤ニ付 金二圓五十一錢

右清國鹽ハ購買價格ノ變更ニ依リ同年八月後百斤ニ付二圓三十六錢ニ改正シタリ
臺灣鹽及關東州鹽ノ賣渡價格ハ明治三十九年九月內地鹽賠償價格十二錢ノ引下ニ伴ヒ相當引下ノ必要ヲ認メ同年十二月七日ヨリ之ヲ改定スルコトトシタリ其ノ引下額ハ內地鹽ニ準シ總テ十二錢引下クヘキ筈ナリシモ明治三十八年九月內地鹽賠償價格二十一錢引上ノ際臺灣鹽ノ引上額ヲ上等十二錢トシ並等ハ五錢ニ止メタルヲ以テ今回ハ上等十二錢引下ケタルモ並等ハ五錢引下ニ止メ又關東州鹽ハ臺灣並等鹽ニ準シ五錢ヲ引下ケタリ

臺灣鹽賣渡價格

一 外國輸出ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金九十一錢

並等 百斤ニ付 金八十四錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金七十九錢

並等 百斤ニ付 金七十二錢

二 明治三十八年勅令第五百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ買受クルトキ但シ

鹽酸曹達硫酸曹達晒粉製造者中政府ノ指定シタル者ニ轉賣スル目的ヲ以テ買受クルトキ

ハ各種各等共金十三錢ヲ低減ス若シ其ノ數量ニシテ三千萬斤ヲ超ユルトキハ其ノ超過額

ニ相當スル數量ハ第三條第一項ノ制限數量以外ニ移入ヲ請求スルコトヲ得ス

包裝鹽

大鹽大百上等 百斤ニ付 金一圓九錢

並等 百斤ニ付 金一圓二錢

散鹽

百斤ニ付 金九十七錢

並等 百斤ニ付 金九十錢

三 前二號以外ノ目的ヲ以テ買受クルトキ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金二圓三十九錢

並等 百斤ニ付 金二圓三十二錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金二圓二十七錢

第九章 販賣

竝等 百斤ニ付 金二圓二十錢

次ニ關東州鹽ノ賣渡價格モ臺灣鹽ト同シク前年度分ヲ据置キ神戸港渡百斤ニ付二圓二十六錢トシ且前年度ト同シク其ノ鹽ハ買受人ニ於テ再製原料ニ供スヘキコトニ條件ヲ付シ賣渡スコトトシタリ

然ルニ又該鹽ヲ「アルカリ」工業用トシテ輸入スルコトヲ許可シタルヲ以テ其ノ價格ハ臺灣竝等鹽ト同額ニ定ムルヲ相當ト認メ神戸港渡百斤ニ付七十七錢ヲ以テ輸入者ニ賣渡スコトトシ明治四十年五月一日ヨリ實行シタリ

各種ノ特別用途鹽ハ百斤ニ付十八錢ノ專賣收益ヲ課シタルモ輸出鹽ニ在リテハ賠償原價ヲ以テ賣渡シタル爲名ヲ輸出ニ藉リテ漁業用ニ供スルモノ多々アリタルニ依リ輸出鹽ニ對スル從來ノ特典ヲ廢スルコトトシ明治四十年四月左ノ如ク改正シタリ

大藏大臣内訓往第四八五一號 (明治四十年四月一日)

鹽賣渡價格定メ方中左ノ通改正シ明治四十年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第一項但書ヲ削ル

第三條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 外國ニ輸出スル鹽及專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條各號ノ用途ニ使用ス

ルモノニシテ特別定價ヲ以テ賣渡スモノ

百斤ニ付 金十八錢

明治四十年五月内地鹽賠償價格引上ニ伴ヒ臺灣鹽及關東州鹽賣渡價格ハ百斤ニ付金九錢ヲ引上クルコトトシ同年六月十一日ヨリ之ヲ施行シタリ尤モ「アルカリ」工業用鹽ニ在リテハ其ノ價格ハ十二錢ヲ超過スルハ工業家ノ苦痛トスル所ナルヘキヲ考慮シ該用途鹽ニ限リ金五錢ノ引上ニ止

メタリ

明治四十年六月臺灣鹽移入取扱人ノ資産ニ故障ヲ生シ之カ整理中一時移入及賣渡命令ヲ中止シ唯臺灣鹽ノ運搬ノミヲ請負ハシムルニ至リタルヲ以テ政府ハ内地鹽ト同シク一般賣渡請求者ニ直接賣渡ヲ爲シタリ而シテ其ノ賣渡價格ハ外國輸出ノモノニ對シ内地鹽同様百斤ニ付十八錢ノ收入率ヲ加算スルコトニ改メタル外從來政府カ移入取扱人へ賣渡シタル價格ト同一ニシテ即チ左ノ如シ

一 外國ニ輸出シ又ハ明治三十八年勅令第一百五十七號第一條ノ用途ニ使用スルモノ

包裝鹽 上等 百斤ニ付 金一圓十八錢

散鹽 上等 百斤ニ付 金一圓十一錢

二 同上ノ内アルカリ工業用ノモノ 百斤ニ付 金一圓六錢

包裝鹽 上等 百斤ニ付 金一圓一錢

散鹽 上等 百斤ニ付 金九十四錢

散鹽 上等 百斤ニ付 金八十九錢

散鹽 上等 百斤ニ付 金八十二錢

第九章 販賣

三 一般用途ノモノ

包裝鹽

上等 百斤ニ付 金二圓四十八錢

竝等 百斤ニ付 金二圓四十一錢

散鹽

上等 百斤ニ付 金二圓三十六錢

竝等 百斤ニ付 金二圓二十九錢

其ノ後明治四十一年度ニ入りテモ前記ノ賣渡手續ヲ繼續シ遂ニ同年七月販賣制度ノ改正ニ依リ鹽賣渡價格ヲ公示スルノ期ニ達シタリ

明治四十年八月「アルカリ」工業者ヨリ「アルカリ」工業用鹽賣渡價格引下方ノ請願アリタルモ既ニ明治三十八年十一月及同三十九年四月ノ兩回ニ百斤當十三錢ノ低減ヲ行ヒタルヲ以テ更ニ引下ノ必要ヲ認メス之ヲ聽許セサルコトトシタリ

明治四十一年度分ノ關東州鹽賣渡價格ハ左記ノ如ク之ヲ定メタリ其ノ一般定價ハ据置トナシ百斤ニ付二圓三十五錢トナシタルモ「アルカリ」工業用鹽ノ賣渡價格ハ之ヲ定メサルコトトセリ右ハ四十一年度中ニハ再製原料鹽ノミヲ輸入スル見込ナリシニ由ルモノナリ

其ノ後關東州鹽ノ賣渡命令ハ再製用以外ノ用途ニ販賣スルコトヲ許可シタル爲メ左ノ如ク變更シ一般定價賣渡價格ハ据置トシ「アルカリ」工業用鹽ハ従前價格ト同額ニ輸出移出及其ノ他ノ特別定價ハ一般定價ト同シク臺灣上等鹽ノ特別定價ヨリ一錢安ニ定メタリ

關東州鹽賣渡價格

一 再製鹽ノ原料ニ供スルモノハ百斤ニ付金二圓三十五錢

二 輸出、移出並專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條各號ノ用途ニ供スルモノニ付テ

ハ百斤ニ付金一圓五錢但シ鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造者ニ轉賣スルモノニ付テハ百斤ニ付金八十二錢トス

三 前二號以外ノ目的ニ供スルモノニ付テハ百斤ニ付金二圓三十五錢

鹽賣渡價格ハ以上ノ如ク内訓又ハ移輸入取扱人ニ對スル命令ヲ以テ之ヲ定メタルモ明治四十一年七月鹽賣捌規則ノ施行ト專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ノ改正ニ依リ其ノ賣渡價格ヲ告示スルコトノ必要且利便ナルコトヲ認メ告示ヲ以テ公示スルコトトシ左ノ通り公示ヲ爲シタリ尤モ等外鹽又ハ汚損鹽等ノ賣渡價格ハ其ノ品質ニ依リ臨機之ヲ決定スルノ要アルヲ以テ豫メ之ヲ告示セサルコトト爲シタリ臺灣鹽及關東州鹽ノ價格ハ内地鹽賠償價格改定ニ伴ヒ百斤當六錢ヲ引上ケ「アルカリ」工業用鹽ハ同工業保護ノ目的ヲ以テ從來ノ方針ニ依リ据置トシ又歐米鹽ハ内地產一等鹽ニ比シ二十錢高トナリ居リテ引上ノ必要ヲ認メ是亦据置ノコトトシタルモノナリ

鹽元賣捌人ニ賣渡ス内地鹽ノ一般定價賣下價格ヲ賠償價格ニ專賣收入率ヲ加ヘタルモノ即チ從前賣下價格ノ五分引ト定メタルハ從前賠償價格ニ專賣收入率ヲ加ヘタル價格ニテ何人ニモ直接賣渡シタルニ今回元賣捌人ヲ設ケ一般消費鹽ヲ全部之ニ賣渡スコトトシ消費者ハ直接政府ヨリ買受ケ得サルニ拘ハラズ若シ尙從前ノ價格ニテ元賣捌人ニ賣渡ストキハ一般消費鹽ハ明カニ從前ヨリ高價トナルヲ以テ消費者ノ買受價格ヲ從前ト同一ナラシムル爲元賣捌人ニ五分引賣渡ヲ爲シ其ノ五分ニ相當スル營業利益營業所得三分減量補償二分ヲ收得セシムルコトトシタルモノナリ

大藏省告示第百號 (明治四十一年六月十六日)

政府ノ賣渡ス鹽ノ百斤當價格左ノ通相定メ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 鹽專賣法第十八條ニ依リ鹽元賣捌人ニ賣渡ス内地鹽ノ定價ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノヨリ其ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノトス

第二條 鹽賣捌規則第二條第二項ニ依リ特ニ指定シタル鹽元賣捌人ニ賣渡ス鹽ノ定價左ノ如シ

- 一 臺灣鹽 上等鹽金二圓四十二錢、並等鹽金二圓三十五錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ
- 二 關東州鹽 金二圓四十一錢
- 三 歐米鹽 各購買價格ニ粗製鹽ニ付テハ金二圓三十錢精製鹽ニ付テハ金五圓五十錢ヲ加ヘタルモノ

第三條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

- 一 内地鹽 各賠償價格ニ金十八錢ヲ加ヘタルモノ
- 二 臺灣鹽 上等鹽金一圓十二錢、並等鹽金一圓五錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金二十三錢ヲ減ス

三 關東州鹽 金一圓十一錢

鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金二十九錢ヲ減ス

四 歐米鹽 各購買價格ニ粗製鹽ニ付テハ金一圓精製鹽ニ付テハ金四圓二十錢ヲ加ヘタル

第四條 專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二第一號ニ依ル一回ノ請求高一萬斤以上ノ内地鹽賣渡價格ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノトス

第五條 專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二第二號ニ依リ鹽元賣捌人カ制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササル場合ニ於テ政府カ鹽小賣人ニ賣渡ス内地鹽ノ價格ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノトス

第六條 鹽賣捌規則第十條ノ鹽回送費ハ專賣局長官ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收スルモノトス包裝損傷鹽ハ鹽賣渡價格告示第一條ノ價格ヲ以テ賣渡シ難キモノアルニ因リ左記ノ如ク其ノ賣渡價格ヲ低減スルコトニ省議決定シタリ

大藏省議決定 (明治四十一年十一月二十七日)

鹽專賣法第十八條ニ依リ鹽元賣捌人ニ賣渡ス場合ニ於ケル内地鹽ノ賣渡價格ハ明治四十一年六月大藏省告示第百號第一條ニ依リ算定スヘキモ包裝損傷ノ爲賣渡スコトヲ得サルモノニ限リ右第一條ノ金額ヨリ改装ニ要スヘキ費用ノ全部又ハ一部ニ相當スル金額ヲ控除シ賣渡價格ヲ定ムルコトヲ得

「アルカリ」工業用鹽ノ價格引下方ニ關シ明治四十一年九月工業者ヨリ請願アリタルヲ以テ調査シタルニ原料鹽ノ價格高キ爲其ノ製品ハ外國品ノ壓迫ヲ受ケ事業遅々トシテ振ハサルノ狀況ナリシヲ以テ之カ保護上其ノ願意ヲ聽許スルノ必要ヲ認メ同年十二月五日以後「アルカリ」工業ニ使用スル臺灣鹽及關東州鹽ハ何レモ百斤ニ付十二錢ノ引下ヲ爲シ七十錢トシタリ右ハ臺灣並等散鹽原價六十八錢六厘ニ事務費一錢四厘ヲ加ヘタルモノヲ標準トシ決定シタルモノナリ

大藏省告示第百七十一號 (明治四十一年十二月二日)

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十一年十二月五日ヨリ施行ス

第三條第二號第二項ヲ左ノ如ク改ム

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金三十五錢ヲ減ス

第三條第三號第二項ヲ左ノ如ク改ム

鹽酸曹達硫酸曹達晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金四十一錢ヲ減ス

明治四十一年十二月英國鹽輸入取扱人「セール、フレザ」株式會社ヨリ英國鹽ハ水分多ク減量甚シキヲ以テ日本鹽又ハ臺灣鹽ト競争スルヲ得サルニ依リ相當程度ニ迄專賣收益率ヲ引下ケラレタキ旨專賣局長官ニ請願シタルモ該鹽ハ粗製鹽ト雖内地上等鹽トノ比較上品質良好ナル爲兩者ノ賣渡價格ニ多少ノ等差ヲ附スル位ニテハ醬油製造業者等ノ需要者ニ於テ尙其ノ使用ヲ利便トスル狀況ナルヲ以テ之カ價格ヲ引下クルニ於テハ勢該鹽ノ濫入ヲ見ルヘク斯テハ從來採り來レル外國鹽輸入防止ノ政策ニ悖ルコトナルヲ以テ其ノ願意ヲ聽許セサルコトトシタリ

曩ニ省議ヲ以テ決定シタル包裝損傷鹽價格低減賣渡方ハ鹽賣渡價格告示第一條即チ元賣捌人ニ賣渡スモノニ限りタルヲ以テ之ヲ擴張シテ特別定價賣渡一回一萬斤以上賣渡竝小賣人賣渡等ニ及ホスコトトシ又其ノ低減額ノ限度ヲ定ムル必要ヲ認メタルヲ以テ現在包裝ノ價格ヲ見積リ之ヲ更裝費額ヨリ控除セタルモノニシテ且法定ノ包裝費額ヲ超過セシメサルコトトシ左記ノ通省議決定シタリ

大藏省議決定（明治四十二年四月二十四日）

内地鹽ニシテ包裝損傷ノ爲明治四十一年六月大藏省告示第百號第一條第三條乃至第五條ノ賣渡價格ヲ以テ賣渡スコトヲ得サル場合ニ於テハ其ノ更裝ニ要スヘキ費額ヨリ現在包裝ノ見積價格ヲ控除シタルモノヲ告示各號ノ賣渡價格ヨリ低減シ其ノ賣渡價格ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ低減額ハ賣渡價格中ニ包含セル包裝費額ヲ超過スルコトヲ得ス

明治四十二年四月關東州鹽輸入取扱人ヨリ再製原料關東州鹽ノ現在賣下價格百斤當二圓四十一錢ハ高價ニ過キ再製事業ノ經營ヲ維持シ得サルヲ以テ現在ノ輸入及賣渡命令高三千萬斤ノ外更ニ再製原料トシテ千五百萬斤ノ輸入命令ヲ受ケ輸入原價ヲ以テ買受ケ其ノ製造シタル再製鹽ヲ内地鹽同等價格ニテ納付シ且内地鹽同等賣下價格ヲ以テ全部賣渡ヲ受ケタキ旨請願アリ然ルニ

輸入額ハ現況ヨリ觀察スルニ既定額ノミニテモ尙多キニ過クルノ感アリ又再製原料鹽ヲ特別低價ニテ賣下クルハ勅令ノ認メサル所ナルノミナラス現今ニ於ケル再製鹽ノ市價ハ内地一等鹽ニ比シ百斤當卸賣價格ニ於テ尙三十錢方高價ナル狀況ニシテ假令現在ノ原料鹽賣下價格ヲ以テスルモ決シテ利益ナシトハ認メ難キヲ以テ其ノ願意ヲ聽許セサルコトトシタリ

「アルカリ」工業用鹽以外ノ特別定價鹽ニ對シテモ其ノ價格ヲ低減スルノ必要ヲ認メ左ノ如ク告示ヲ改メ其ノ收入率十八錢ヲ十一錢低減シテ七錢トシ尙從來歐米粗製鹽ハ收入率ヲ定メアリテ之ヲ各購買價格ニ加算シ賣渡價格ヲ算定シタリシモ告示ヲ以テ具體的ニ價格ヲ揭示スルコトニ改定シタリ又特別定價鹽ノ收入率ヲ七錢ニ改定シタルハ明治四十一年七月元賣捌人ニ對スル賣下價格ヲ五分引トナシタル關係上從來一圓三十錢ノ交付金ヲ今回改定シテ一圓三十五錢トシタルヲ以テ右五分引價格ニテ元賣捌人カ買受ケタル鹽ニ對シ約三分ノ利益ヲ得ルモノト假定シ而シテ之ヲ買受ケ消費シタル者ニ於テ交付金ノ下付ヲ受クルトキハ賠償價格ニ七錢ヲ加ヘタル價格ニテ買受ケタルト同シキ計算トナルニ由ルモノトス

大藏省告示第四百四十八號（明治四十二年十月二十日）

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
第二條第三號ヲ左ノ如ク改ム

歐米鹽 粗製鹽金三圓三十錢精製鹽各購買價格ニ金五圓五十錢ヲ加ヘタルモノ

第三條第一號中十八錢ヲ七錢ニ改ム

同條第二號中一圓十二錢ヲ一圓一錢ニ一圓五錢ヲ九十四錢ニ三十五錢ヲ二十四錢ニ改ム

同條第三號中一圓十一錢ヲ一圓ニ四十一錢ヲ三十錢ニ改ム

同條第四號ヲ左ノ如ク改ム

歐米鹽 粗製鹽金一圓八十九錢

粗惡鹽ハ鹽賣渡價格告示ノ價格ニ依リ賣渡シ難キモノアルヲ以テ之カ賣渡方ニ關シ左記ノ如ク
省議決定ノ上其ノ適用方ニ關シ通牒ヲ發シタリ

專賣局^{販賣}部^{收納}部長通牒丁第一七三號 (明治四十三年一月二十日)

鹽ノ品質粗惡ナル爲大藏省告示第百號ノ賣渡價格ニ依リ賣渡シ難キ場合ニ於ケル賣渡方ニ關シ別紙之通省議決定相成候ニ付テハ其適用方ニ關シ左記之通
御了知相成度 右依命

- 一 粗惡鹽ニ付低減賣渡ヲ爲サムトスル場合ハイ其ノ粗惡トナリタル原因(ロ其ノ相當ト認ムル賣渡價格及其ノ價格決定ノ根據)ハ其ノ鹽ノ用途ニ關スル
意見(ニ其ノ買受ケ希望者ノ有無若アラハ其ノ申込價格及目的ノ用途ヲ記載シ稟申ヲ要ス
- 二 鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第三號ニ依リ賣渡スモノニ付テハ其ノ低減シタル賣渡價格ハ百斤當一圓三十五錢以上ナルコトヲ要ス
- 三 前項ノ價格ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ特別用途ニ使用シタルモノニ對シテハ百斤當一圓三十五錢ノ交付金ヲ下付スルモノトス
- 四 鹽專賣法第十九條第一號又ハ第二號ニ依リ賣渡スモノニ付テハ其ノ賣渡價格ノ低減限度ヲ制限セス
- 五 前項ノ價格ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ特別用途以外ノ用途ニ使用シタルモノニ對シテハ其ノ低減額ヲ大藏省告示第百號第一條ニ定メタル價格ヨリ控除
シタル金額ト其ノ賣渡シタル價格トノ差額ニ相當スル金額及其ノ五分ノ一又ハ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徴スルモノトス又前項價格ヲ以テ賣渡
シタル鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用鹽ヲ其ノ他ノ特別用途ニ使用シタルモノニ付テハ百斤當臺灣鹽ハ金二十四錢、關東州鹽ハ金三十錢ヲ追徴ス
ヘキハ勿論トス
- 六 露領沿海州水産組合員ノ輪移出積戻鹽ヲ其ノ積戻人又ハ積戻人以外ノ露領沿海州水産組合員ニ賣渡ス場合ニ於テハ假令其ノ鹽カ粗惡ナルモ右省議
決定ノ低減賣渡ヲ爲サス

(別紙)

粗惡鹽賣渡價格低減賣渡ニ關スル省議決定

「鹽ノ品質粗惡ナル爲明治四十一年六月大藏省告示第百號ノ賣渡價格ニ依リ賣渡シ難キ場合ニ於テハ其ノ告示ニ定メタル價格以下ニ於テ相當價格ヲ定
メ賣渡ヲ爲スコトヲ得」

從來臺灣鹽及關東州鹽ノ移輸入受渡ハ神戸港ノミニ限リタルヲ明治四十三年度ヨリ右ノ外數箇
ノ箇所ニ於テ受渡ヲ開始スルノ必要ヲ生シタルニ依リ左ノ如ク告示ヲ改メタリ而シテ產地ヨリ
各受渡港ニ至ル移輸入ノ航程ニ差異アル爲各受渡地ニ於ケル購買價格ニ異動ヲ生スル結果賣渡
價格ニモ亦自然差異ヲ認メサルヘカラサルヲ以テ從來ノ神戸港ニ於ケル價格ニ代ヘ其ノ移輸入
航程ノ最モ近キ門司港ニ於ケル賣渡價格ヲ基礎トシ其ノ他ノ箇所ニ於ケル價格ハ門司ニ於ケル

購買價格ト其ノ地ニ於ケル購買價格トノ差額ヲ門司ノ價格ニ加算スルコトニ改メタルモノニシテ一見二錢ノ引下ヲ爲シタルカ如シト雖神戸港ニ於ケル賣渡價格ニ至リテハ毫モ從前ト異ナルコトナシ

大藏省告示第五十八號（明治四十三年四月十一日）

明治四十一年^月大藏省告示第百號中左ノ通改正シ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第一號中「二圓四十二錢」ヲ「二圓四十錢」ニ「二圓三十五錢」ヲ「二圓三十三錢」ニ改ム

同條第二號中「二圓四十一錢」ヲ「二圓三十九錢」ニ改ム

第三條第二號中「一圓一錢」ヲ「九十九錢」ニ「九十四錢」ヲ「九十二錢」ニ改ム

同條第三號中「一圓」ヲ「九十八錢」ニ改ム

第七條 第二條第一號、第二號及第三條第二號、第三號ノ價格ハ三田尻專賣支局門司出張所ニ於テ賣渡ス價格トス

三田尻專賣支局門司出張所以外ノ鹽專賣官署ニ於テ臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ賣渡ス場合ニ於テハ第二條第一號、第二號及第三條第二號、第三號ノ價格ノ外門司ニ於ケル政府ノ購買價格ト其ノ地ニ於ケル購買價格トノ差額ヲ加算スルモノトス

「アルカリ」工業用鹽ノ價格低減ノ必要ヲ認メ左ノ改定ヲ爲シタリ同工業鹽ハ保護ノ目的ヲ以テ漸次其ノ賣渡價格ヲ低減シ來リ百斤當一錢四厘ノ收入率ヲ收得スルニ止マリシモ尙低減ノ必要ヲ認メ臺灣專賣局ニ交渉シテ其ノ購買價格ヲ一錢六厘引下ケ一方前記一錢四厘ノ專賣收益ヲ撤廢シ合計三錢ヲ賣渡價格ニテ低減スルコトトシ關東州鹽モ臺灣鹽トノ權衡上三錢引下ケタルモノナリ尤モ關東州鹽ハ三錢ヲ引下クルモ尙二錢ノ收益アリ

大藏省告示第二十五號（明治四十四年三月三十一日）

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條第二號中「各等鹽共前項ノ金額ヨリ」ヲ前項ノ金額ヨリ竝等散鹽ニ在リテハ金二十七錢其ノ他ニ在リテハニ第三號中「三十錢」ヲ「三十三錢」ニ改ム

英國鹽ノ輸入取扱人タル「セール、フレザー」會社カ英國粗製鹽約千七百萬斤ヲ通過貿易品トシテ運搬シ來リ函館沖ニ於テ露領沿海州方面ノ漁業鹽トシテ賣渡ヲ爲サムトシタルヲ以テ若シ之ヲ看過スルトキハ將來此ノ英國鹽ニ相當スル内地鹽ノ需要ヲ減殺セラルルヲ以テ將來英國鹽ヲ漁業者ニ供給セサルコトヲ誓ハシメタル上特ニ今回限り買上グルコトトシタルモ現行歐米鹽ノ賣渡價格ハ含有鹽化曹達ノ割合ヨリ見ルトキハ頗ル高價ナルヲ以テ買受ヲ希望スル者ナク且數量多大ナルヲ以テ全部賣退ヲ了スル迄ニハ相當長久ノ時日ヲ要スヘク之カ爲多大ナル貯藏減量ト多額ノ借庫料トヲ損失スヘキヲ以テ可成速ニ賣渡ヲ爲スノ必要アリ依テ内地十州產一等鹽賠償價格一圓四十二錢ヲ元賣捌人ニ賣渡ス價格二圓七十五錢五厘ト同額ニ改定スルヲ相當トシ三圓三十錢ヨリ五十四錢五厘ヲ減シ特別定價鹽モ亦一圓八十九錢ヨリ同額ヲ低減シタリ

大藏省告示第八十三號（明治四十四年七月二十一日）

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第三號中「三圓三十錢」ヲ「二圓七十五錢五厘」ニ第三條第四號中「一圓八十九錢」ヲ「一圓三十四錢五厘」ニ改ム

元賣捌人ニ賣渡ス現行價格ハ内地鹽ハ既ニ五分引賣渡ヲ爲シ來リタルニ拘ラス臺灣鹽及關東州鹽ハ其ノ品質ニ對シ比較的安價ナリシヲ以テ五分引賣渡ヲ爲ササリシモ爾後内地鹽ハ其ノ回送費ノ一部ヲ政府ニ於テ負擔シ漸次其ノ負擔歩合ヲ増加シ百斤當平均回送費約二十錢ノ約六割位ヲ負擔スル爲臺灣鹽及關東州鹽ニ比シ其ノ賣値ハ事實上十二三錢方低減シタル姿トナリ居ルヲ

以テ彼此ノ價格ニ權衡ヲ得セシムル爲十三錢ヲ低減シタリ尙アルカリ工業用ニ供スル臺灣鹽ノ購買價格ヲ二錢低減スルコトニ臺灣專賣局ト協定ヲ遂ケタルヲ以テ賣渡價格モ二錢ヲ低減シ從來ノ如ク購買原價ヲ以テ賣渡スコトトシ關東州鹽ハ原價ニ收益率二錢ヲ加算シ來リタルヲ今回臺灣鹽ト同額ヲ引下ケ購買原價ニテ賣渡スコトトシタリ

大藏省告示第二十號(明治四十五年二月二十一日)

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十五年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二條中「鹽賣捌規則」ノ上ニ「鹽專賣法第十八條ニ依リ」ヲ加ヘ第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 臺灣鹽 上等鹽金二圓二十七錢並等鹽金二圓二十錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二

錢ヲ加フ

二 關東州鹽 金二圓二十六錢

第三條第二號中「金九十九錢」ヲ「金八十六錢」ニ、「金九十二錢」ヲ「金七十九錢」ニ、「金二十七錢」ヲ「金十六錢」

ニ、「金二十四錢」ヲ「金十一錢」ニ、「第三號中「金九十八錢」ヲ「金八十五錢」ニ、「金三十三錢」ヲ「金二十二錢」ニ改

從來移輸出用鹽ニ付テハ特ニ回送費ヲ全免シタル爲露領沿海州樺太及其ノ他ノ方面ニ輸移出スル漁業用鹽ハ通過貿易ニ係ル外國鹽ニ對抗シ豫期ノ如ク大部分内地鹽ヲ以テ供給スルノ良果ヲ收メ得タルモ通過貿易鹽ハ漸次價格ヲ低減シ或ハ其ノ需要カ該鹽ニ移ラムトスルノ狀勢ヲ呈シタルニ依リ内地鹽ノ販路ヲ維持セムトスルニハ勢ヒ其ノ賣渡價格ヲ低減セサルヘカラス故ニ賠償價格ニ加算シタル七錢ヲ低減シ賠償原價ヲ以テ賣渡スルノ必要ヲ認メタルモノニシテ縱ヒ原價ヲ以テ賣渡シ事務費ヲ損スルトモ此ノ方面ニ内地鹽ノ販路ヲ拓キ其ノ補充トシテ臺灣鹽及關東州鹽ヲ輸入シ以テ内地鹽ヲ販賣スルニ比シヨリ多クノ專賣利益ヲ收得スルコトヲ得ヘキヲ以テ

ヲ低減シタルモノナリ又歐米粗製鹽ノ價格ヲ引上ケ從前ノ價格三圓三十錢ニ復活シタルハ曩ニ「セール、フレザ」會社ヨリ買入レタル英國鹽ヲ全部賣渡スコトトナリタルヲ以テ從前價格ニ復活スルノ必要ヲ生シタルニ依ルモノナリトス

大藏省告示第四十一號（明治四十五年三月二十六日）

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第三號中「二圓七十五錢五厘」ヲ「三圓三十錢」ニ改ム

第三條第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ付テハ其ノ賠償價格ニ依ル

第三條第四號中「一圓三十四錢五厘」ヲ「一圓八十九錢」ニ改ム

從來輸入シタル關東州鹽ハ其ノ品質ニ於テ格別ノ差等ナキヲ以テ臺灣鹽ノ如ク上等竝等ノ區別ヲ認メサリシモ輸入取扱人タル製鹽者ニ於テ白鹽ト稱スル一種ノ改良鹽ヲ製造シ今後之ヲ輸入セムトスルノ希望アリ其ノ品質竝等鹽ニ對シ購買價格ニ於テ二錢ノ増差ヲ附スルヲ相當ト認メ輸入ヲ許可スルコトトシタルヲ以テ賣渡價格ニモ亦上等竝等ニ區分シ同額ノ等差ヲ附スルコトトセリ

大藏省告示第五十五號（明治四十五年四月九日）

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第二號中「金二圓二十六錢」ヲ「上等鹽金二圓二十八錢竝等鹽金二圓二十六錢」ニ改ム

第三條第三號中「金八十五錢」ヲ「上等鹽金八十七錢竝等鹽金八十五錢」ニ改ム

從來內地鹽ハ其ノ賠償價格ノ引上又ハ引下ニ伴ヒ其ノ賣渡價格ヲ引上又ハ引下ケタリシモ明治四十五年七月賠償價格引上ニ際シテハ賣渡價格ノ引上ヲ爲サス從前ノ儘据置クコトヲ必要ト認

メタルヲ以テ收入率ニ於テ賠償價格引上額(第一區即チ十州地方ニ於ケル引上額ハ十二錢トナシメタルヲ今次ハ四十斤引上額ハ五錢ナリトス)ニ相當スル金額ヲ低減スルコトトシ左記ノ通告示ヲ改正シタリ尤モ輸移出用鹽ハ賠償原價ヲ以テ賣渡スモノナルニ因リ自然ニ其ノ賣渡價格ヲ引上クルコトトナレリ

大藏省告示第九十六號 (明治四十五年六月二十九日)

明治四十一年六月大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二第一號ノ場合ニ於テ政府カ其ノ請求者ニ同條第二號ノ場合ニ於テ政府カ鹽小賣人ニ賣渡ス内地鹽ノ價格ハ明治四十四年十二月大藏省告示第百五十二號ノ各賠償價格ニ左ノ金額ヲ加ヘタルモノトス

一 第一區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓四十三錢

二 第二區、第三區及第四區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓四十七錢

三 第五區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓四十六錢

散鹽ニテ收納シタル鹽ニ付テハ其ノ賠償價格ニ前各號ノ金額ノ外尙金一錢ヲ加フ
第二條 鹽專賣法第十八條ニ依リ鹽元賣捌人ニ賣渡ス内地鹽ノ定價ハ前條ノ賣渡價格ヨリ其ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノトス

〔第二條ヲ第三條ニ改ム〕

〔第三條ヲ第四條ニ改メ同條第一號中各賠償價格ニ金七錢ヲ加ヘタルモノヲ第一條ノ各賣渡價格ヨリ金一圓四十一錢ヲ減シタルモノニ改ム〕

第四條及第五條削除

第七條中第二條ヲ第三條ニ、第三條ヲ第四條ニ改ム

鹽賠償區域ノ定メナキ地ニ生産スル沃度又ハ硝石製造副産鹽ノ賣渡價格ヲ左ノ如ク定メ關係支局長へ通牒シタリ

專賣局販賣部長通牒丁第二三二二號 (明治四十五年七月十一日)

鹽賠償區域ノ定メアル地ニ於テ生産スル沃度又ハ硝石製造副産鹽ノ賣渡價格ハ鹽賣渡價格告示ニヨリ其ノ賠償價格ニ各其ノ收納區域分ノ專賣收入率ヲ加算シテ之ヲ定ムヘキハ勿論ナルモ其ノ賠償區域ノ定メナキ地ニ於テ生産スル同鹽ニ付テハ百斤當金一圓四十七錢ヲ加算シ散鹽ニテ收納賣渡ヲ爲スモノハ尙金一錢ヲ加算シ賣渡價格ヲ定ムルコトニ省議決定相成候ニ付右ニ御取扱相成度 右依命

臺灣鹽及關東州鹽ノ特別定價ハ「アルカリ」工業用ヲ除クノ外内地鹽ヨリモ多クノ收益率ヲ加へ賣下クルコトニ定メラレタルモ將來輸移出用ニ供スル臺灣鹽及關東州鹽ハ外國鹽ト競争スル爲出來得ル限り廉價ニテ賣下クルノ必要アルヲ以テ一般定價ニテ賣渡スモノハ其ノ收益率ノ殆ト全部ヲ交付スルト同時ニ特別定價ノ分ハ之ト相照應スル爲右交付金額ヲ一般定價ヨリ控除シタル價格ヲ以テ賣下クルノ必要アリタルニ因ルモノトス

大藏省告示第三十八號 (大正元年十一月六日)

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ大正元年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

第四條第二號及第三號ヲ左ノ如ク改ム

臺灣鹽 上等鹽金八十六錢、並等鹽金七十九錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加

フ

輸出、移出ニ供スル上等鹽金七十一錢、鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造ニ使用スル上等鹽金七

十一錢、並等鹽金六十三錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

三 關東州鹽 上等鹽金八十七錢、並等鹽金八十五錢

輸出、移出ニ供スル上等鹽金七十二錢、並等鹽金七十錢、鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造ニ使用

スル上等鹽金六十五錢、並等鹽金六十三錢

鹽價ノ低減及均一ヲ期スルト同時ニ鹽專賣ニ依ル國民ノ負擔ヲ輕減セムカ爲ニ一般定價ヲ低減スルト共ニ各特別定價ヲモ輕減シ且特典ヲ與フヘキ用途ヲ擴張シ尙内地鹽ニ付テハ鹽回送費中從來政府カ負擔シタル殘部ヲ政府ノ負擔ト爲シ又臺灣鹽及關東州鹽ニ付テモ其ノ移輸入港中門司港ヲ基點トシ同港ヨリ其ノ他ノ箇所ニ至ル運賃ヲ全部政府ニ於テ負擔スルコトトシ左記ノ通り告示ノ改正ヲ行ヒ茲ニ一般定價鹽ノ政府賣渡價格ハ全國均一トナリタルモノトス特別用途鹽ニ付テハ其ノ低廉ヲ期スルカ爲總テ原價ヲ以テ賣渡スコトトシタルカ爲之カ均一ヲ見ルニ至ラス

尙從來鹽賣渡價格ノ改定ニ付テハ見越買又ハ買控等ヲ防クカ爲發表後直ニ施行スルヲ例トシタルモ今回ノ低減額ハ比較的多大ナルカ故ニ即時施行トスルトキハ多量ノ販賣鹽ヲ所持スル賣捌人ノ損害多カルヘキヲ慮リ特ニ施行期日ヲ豫告シ此ノ期間内ニ於テ成ルヘク所持鹽ヲ販賣セシメ以テ其ノ損害ヲ減却セシメムトシタルモノナリ

大藏省告示第百三十六號 (大正二年十月二日)

明治四十一年^六大藏省告示第百號中左ノ通改正シ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一條第一項第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改メ第二項ヲ削ル

- 一 第一區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓二十五錢
- 二 第二區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓二十九錢
- 三 第三區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓二十六錢
- 四 第四區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓二十一錢
- 五 第五區ニ於テ收納シタル鹽ニ付テハ金一圓二十錢

第三條第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 臺灣鹽 上等鹽金二圓十錢、並等鹽金二圓三錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

二 關東州鹽 上等鹽金二圓十一錢、並等鹽金二圓九錢

第四條第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

一 内地鹽 賠償價格ニ相當スル金額

二 臺灣鹽 上等鹽金七十二錢、並等鹽金六十七錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

輸出、移出ニ供スル上等鹽金七十一錢、並等鹽金六十六錢、鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造ニ使用スル上等鹽金七十一錢、並等鹽金六十三錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

三 關東州鹽 上等鹽金六十八錢、並等鹽金六十四錢

輸出、移出ニ供シ又ハ鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造ニ使用スル上等鹽金六十五錢、並等鹽金六十三錢

第六條及第七條削除

鹽賣渡價格改定ニ伴ヒ曩ニ通牒シ置キタル鹽賠償價格ノ定メナキ地ニ於テ生産スル沃度又ハ硝石製造副產鹽ノ賣渡價格算定方ヲ改正スルノ必要ヲ認メ左記ノ通牒ヲ發シタリ

專賣局事業部長通牒甲第一四三九號 (大正二年十月十六日)

鹽賠償價格ノ定メナキ地ニ於テ生産スル沃度又ハ硝石製造副產鹽ノ賣渡價格算定方ニ關シテハ四十五年七月十一日丁第二三一二號ヲ以テ各其ノ賠償價格

ニ金一圓四十七錢ヲ加算スヘキ旨及通牒置候處今回鹽賣渡價格改定ニ付今後ハ一般減額十八錢ト其ノ副產鹽ノ產地最寄販賣官署又ハ引渡場所ニ於ケル

改定前ノ徵收回送費トノ和ヲ右一圓四十七錢ヨリ控除シタル金額(單位ヲ生シタルモノハ切上錢位トス)ヲ加算スヘキ義ト御了知相成度シ 右依命